

| 科目名 | | 架構実習Ⅱ | | | | |
|--|--|--|------|---|------|------|
| 担当教員 | | 大井 淳 | | 実務授業の有無 | ○ | |
| 対象学科 | | 建築大工科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 96時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | | 建築大工の技術者として基本となるな道具の知識・使用法、管理を学び、在来軸工法の基礎的な技術を実習を通して学ぶ 1. 説明→作業実習→添削と評価→修正を繰り返していき基礎技術を身につける。 2. 加工、工法に応じた道具と、手順を理解し修練する。また習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 3. 刃物など、注意が必要な道具を用いた授業のため、安全管理に留意する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | | 2年間の集大成として実習場に住宅軸組の加工、組立を中心に行う。今までの技術を使い木材加工をし、また、実際の現場での動きなどを体に覚えさせながら習得する。2級技能士習得のための訓練を行う。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | | 配布プリント等 | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | | |
| 1 | 大工実習場モデルハウスの制作－1 ①住宅の基本である軸組の組み方 ②足場の組み方や現場での作業の仕方 | | | 方法：注意事項、教材と実習室の工具材料を使い課題の説明 達成目標：健康管理ができており一連の作業ができる。 準備学習：作業手順を予習する。 | | |
| 2 | 大工実習場モデルハウスの制作－2 ①墨付けの仕方 ②継手の選定方法、加工方法、建て方の順番 | | | 方法：注意事項、教材と実習室の工具材料を使い課題の説明 達成目標：健康管理ができており一連の作業ができる。 準備学習：作業手順を予習する。 | | |
| 3 | 大工実習場 2級技能試験の練習 | | | 大工技能検定2級の課題を繰り返し何度も練習し、体に覚えさせる。 | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | 課題評価60%、取組姿勢30%、出席10% | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | | 履修上の注意 | | |
| 取組姿勢 | 課題 | 出席 | | 実践的な作業として行うため、確実に習得できるよう毎日の目標を設定し授業に取り組ませる。 知識と同時に技術を伴う内容のため、機能や管理方法を十分理解したうえで、道具等の安全な取り扱いに留意し繰り返し、積極的に実習に取り組み技術の習得を目指す。 | | |
| 30 % | 60 % | 10 % | % | | | |
| 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | | | |
| 実務経験教員の経歴 | | 建築大工として40年実務に携わる | | | | |